

ふれあい

さいせい



発行
 済生会西条病院
 2014年新年号第61号
 西条市朝日市269-1
 TEL (0897) 55-5100



「新造船 済生丸100 (西条市ひうちにて)」 撮影者:医療秘書課 神原 勝己

ごあいさつ

院長 岡田 眞一

生活習慣病検討委員会・
 糖尿病スタッフ会活動報告

第9回院内学会、平成25年度
 院内クリニカルバス大会が
 開催されました

第一回介護職員初任者養成講座開催
 老人保健施設いしづち苑 伊丹 陽子

新済生丸就航披露

第34回全国済生会親善ソフトボール大会

平成25年度いしづち苑文化祭

ニューフェイス

医療介護相談会開催中

病院駐車場利用についてのお知らせ

ごあいさつ

院長 岡田 眞一



院長

岡田 眞一

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、地球温暖化による異常気象で世界中に多くの自然災害が発生した一年でした。被災地の早期復興を願っています。日本では明るいニュースもありました。6月に富士山が周囲にある神社や登山道、風穴、湖沼などを含めて世界文化遺産に登録されました。日本にはいいものがたくさんあります。日本の文化や私達が誇れるものを、もっと外国にアピールしていく必要があります。また、9月には2020年の夏季オリンピック・パラリンピックの開催地として、東京が選ばれました。招致委員の最終プレゼンテーションが印象に残ります。6年後の開催に向けて、日本全体に大きな目標ができました。これから種々な分野が良い方向に向かうのではないかと思います。

今年は、4月に診療報酬改定が行われます。現在当院は7対1看護体制でDPC診療を行い、急性期病院としての役割を果たしています。今回の改定では、今後の高齢化社会と7対1看護体制の急性期病院が多すぎるとの理由から、一般病棟の重症度・看護必要度の評価項目について、一部に厳しいハードルが設けられています。消費税8%への引き上げもあるため、地方の急性期

病院にとっては、経営に大きな影響が予想されます。また、当院では来年初めに開所予定の特別養護老人ホームの準備が進んでいます。昨年12月から病院東側に土地開発工事が行われ、職員確保も始まりました。今年は忙しくなりそうですが、職員全員で力を合わせて頑張ってください。

まだ地方では医師・看護師不足や医師の偏在が続いており、十分な診療体制ができていません。当院で対応できないところは近隣の医療機関や診療所と連携を行い、質の高い医療を行うように努力していきたいと思っています。みなさま、今年もどうかご支援の程を宜しくお願い申し上げます。

生活習慣病検討委員会・糖尿病スタッフ会活動報告



国際連合が、2006年にインスリン発見者の誕生日である11月14日を「世界糖尿病デー」と定め、毎年、世界各地で糖尿病に関するイベントが開かれています。愛媛県内でもシンボルマークのブルーサークルをモチーフに、松山市の観覧車「くるりん」や松山城などが、ブルーにライトアップされたニュースを目にされた方も多いのではないでしょうか。

当院でも、毎年、糖尿病週間行事として院内・外で活動をしてきました。昨年は院外活動として社会福祉課と合同で、西条市産業祭に初出展しました。糖尿病を始めとする生活習慣病予防の啓発活動や、済生会の無料低額診療制度の相談など盛り沢山の内容を準備しました。

「糖尿病合併症・高齢者体験コーナー」では、白内障の見え方が体験できる眼鏡を装着し、手先の神経障害を体験できる手袋をして、ビー玉の中にある小銭を見つけ取り出したり、封筒の中にある紙幣の枚数を数えたり、湿布薬を袋から出して貼るなど、日常での何気ない動作が、とても不自由であることを体験していただきました。「お年寄りレジで小銭を出すのに手間取る理由がわかった。明日からは、レジで並んでも優しい持

ちで待ってあげたい」などの感想が聞かれました。「自己血糖測定体験コーナー」では、「血糖値って聞いた事あるけど、正常値は分からない」という方が多く来られ、実際に自分の指に針を刺して測定器で血糖値を見る体験をされました。

また、食品カードを使って、1食分の献立を選び、その献立内容のカロリーや塩分・糖分の計算をするコーナーやメタボサイズの腹囲を体験できるベルト、皮下脂肪サンプルの展示、食品に含まれる糖分量をスティックシュガーの本数で表現したり、タバコの煙の中に含まれる成分のサンプル表示などなど、見たり触ったりの体験をしていただきました。更に、会場を出る際には、健康川柳が書かれた「健康福引」をひいていただき、その川柳の内容に皆さん一喜一憂されていました。

私たちも、初めての出展で戸惑うことも多かったのですが、なんと！産業祭2日間で1,200名以上の方が、当院の会場を訪れてくださり大盛況となりました。ご来場くださったみなさま、ありがとうございました。

今年も、多くの方々に糖尿病を始めとする生活習慣病予防など健康への関心を持っていただけるようにスタッフ一同取り組んでいきたいと思っております。これからも宜しくお願い致します。



済生会西条病院

開設55周年記念

市民公開講座

なお、会場の都合により事前申込み(予約)が必要です。◎無料の講座です。

第4回
講座

平成26年3月12日(水) PM3:00~

テーマ 「糖尿病について」 ・笑って伸ばそう健康寿命！～糖尿病をもっと知ろう～

講師 金子 由梨(内科医長)

会場 東予総合福祉センター(ほほえみプラザ)2階会議室

お問い合わせ・申し込み先：済生会西条病院 社会福祉課 医療・福祉支援係

電話 (0897)55-5100 FAX (0897)55-6766 住所：〒793-0027 西条市朔日市269番地1(済生会西条病院)

第9回院内学会、平成25年度院内クリニカルパス大会が開催されました。



12月14日土曜日に第9回院内学会と平成25年度院内クリニカルパス大会が開催されました。

院内学会では各部署の課題と成果について発表が行われました。院内学会も9回目となり、どの部署の発表も業務の改善に向き合う真摯な姿勢と情熱を感じるものとなりました。発表後の討論は白熱し、時間内に収めるのが大変でした。大会後に表彰が行われ、最優秀賞に「医療介護相談会・実施状況報告」について発表した老人保健施設いしづち苑の発表が選ばれました。

院内クリニカルパス大会では前半で「みんなでパスを読み解こう」のテーマで「片眼白内障」を例に、よりよいパスを目指して職種の枠を超えた意見交



クリニカルパスとは？

クリニカルパスとは検査や手術の標準的な経過を説明するために入院中のスケジュールを表にまとめたものです。患者さんにお渡しして検査・手術の予定と経過を十分ご理解いただくためのものです。また医療の内容を標準化し、医師、看護師をはじめ全てのスタッフが患者さんの治療計画を共有することにより医療の安全や質の向上を目的としています。

換が行われました。クリニカルパスの把握のために当院職員が患者さん役、医療スタッフとして出演・制作したビデオの上映も行われました。

後半は、済生会熊本病院からTQM部クリニカルパス専任看護師 森崎真美先生を講師にお迎えし、「電子カルテ時代のパスと看護記録」について特別講演が行われました。クリニカルパスの先進地の取り組みを知るよい機会となりました。



院内学会、クリニカルパス大会に参加して全職員が協力して、地域の医療を担って行く決意を新たにすることができました。今後も患者さんの立場にたったよりよい医療を提供できるよう努力します。

第一回介護職員初任者養成講座開催

老人保健施設いしづち苑 伊丹 陽子

初任者研修は在宅、施設を問わず高齢社会の多様なニーズに対応できる介護のプロを育成するために、従来のヘルパー養成講座から変更されたものです。

平成25年10月19日(月曜日)朝8時半から、受講生19名を迎え始めました。

まず常光苑長、小野事務長から済生会の由来、社会的使命などについて説明があり、研修生のみなさんも緊張した面持ちで聞かれていました。

引き続き最初の講義「職務の理解」について開始。ピックアップの鮮やかな画面と操作性に驚き戸惑



いながらも何とか？終了。以後、順次苑職員で講師を交代しながら2ヶ月間講義と実習を交えて行なわれました。

この原稿が出るころには、受講生19名のみなさん全員が無事修了を迎え、晴れやかな気持ちで第一歩を踏み出されていることでしょう。

講師になった職員も研修資料の作成等に悪戦苦闘しましたが、良い意味で初心に帰り介護の奥深さ、重責を再認識する機会になったと思います。

来年度第二回目以降の研修では「済生会で受けて良かった！」と言っていただけるように全職員で取り組んでまいります。介護に関心がある方は是非受講してください。

新済生丸就航披露

平成26年1月8日、西条港で新済生丸就航披露が行われました。

済生丸とは社会福祉法人済生会が運航する日本で唯一の診療船です。瀬戸内海の島々を巡回するほか、災害時には救援活動も行っています。また、昨年テレビドラマとして放映された「海の上の診療所」に登場する診療船のモデルになったことでも知られています。

この新済生丸は四世号で、去年の4月から神戸市の金川造船吉田工場に着工、8月に進水式が行われた後、西条港においては今回初めてのお披露目となりました。



就航披露式は西条市長をはじめ、約20名の市内関係者を招いて執り行われました。その後まだペンキのにおいが残る船内を見学。船内設備として以前の済生丸と大きく変わったものが2つあり、1つは船内に4人乗りエレベーターが設置されたこと。エレベーターが設置されたことで車椅子の方や歩行が不安定な方の移動がスムーズになりました。もう1つは乳がん検診ができるマンモグラフィーが導入されたこと。医療設備としても十分な環境が整っています。

バリアフリー面、医療機器面等において更にバージョンアップした新済生丸は今年から運航を開始。先代の済生丸以上に瀬戸内海の島々の方々の健康を維持する役割を果たし、活躍してほしいと思います。

第34回全国済生会親善ソフトボール大会

第34回全国済生会親善ソフトボール大会が11月10日(日)に埼玉県の大宮けんぼグラウンドで開催されました。

当院は6月にあった中・四国大会で優勝し、今回はその中・四国ブロック代表として参加しました。全国の各ブロックの代表6チームが集まり、開催地である川口総合病院のチームを合わせ計7チームで試合が行われました。



組み合わせは前日の懇親会で各キャプテンがクジをひき、決定しました。試合はトーナメント方式で行われ当院は第1回戦で優勝候補の強豪・済生会熊本病院と対戦することになりました。

試合当日、外は寒く、天気予報では午後から雨というコンディションの中で行われました。5回の裏まで0-0という緊迫した試合展開の中、6回の表にソロホームランを打たれ、西条病院はその裏のチャン

スをものに出来ず、そのまま制限時間となり0-1で惜しくも初戦敗退という結果になりました。一方の熊本病院はそのまま順調に勝ち進み、見事優勝。今回は5年ぶりの全国大会出場でしたが、残念ながら思うような結果を残せませんでした。

来年は三重県の松阪市で開催されます。この悔しさを胸に来年も全国大会優勝を目標に33年ぶりの悲願達成に向け頑張りたいと思います！

平成25年度いしづち苑文化祭

老人保健施設いしづち苑 小松 佐和子

さる11月24日(日曜日)、平成25年度いしづち苑文化祭を開催しました。

オープニングでは、道前太鼓 L A・BANT A による太鼓演奏が披露されました。道前太鼓の皆様の配慮により、来場者も太鼓に触れ、地域住民の方々と交流する機会が持てました。また、消防署員による救急講話では、正しい通報の仕方や消火器の正しい取り扱いなど、日頃の生活に生かせるポイントがたくさん聞けました。体験コーナーでは、しめ縄作りやアロマ製作を行い、子供と高齢者が触れ合えた楽しい時間となりました。

いしづち苑4階では家族介護教室として、看護師・介護福祉士による「排泄について」の実技や、当苑理学療法士・作業療法士による、車椅子やトイレに安全に移るためのポイントとその実演や、自宅でできる運動の実技など、生活に生かせる内容を介護する方・される方の視点から講義をしました。その後は家族会を行い、当苑利用ご家族の日頃の様子や悩みなど、ざっくばらんに話をする時間が設けられ、積極的な意見交換が行われました。

今年はいしづち苑3大イベントの最後が文化祭でした。この文化祭も、地域の福祉活動に貢献することを目的に開催しました。地域に根差したイベントとして広く知っていただけるよう、来年度も職員一同、力を合わせて取り組んでいきたいと思ひます。



迫力ある道前太鼓さん



昔体験しめ縄作り



通所利用者様作品



家族介護教室

医療介護 相談会 開催中

済生会西条病院と老人保健施設いしづち苑では、原則第1,3の火曜日9時30分から12時30分まで、正面玄関すぐ左側のロビーにて医療介護相談会を開催しております。病院社会福祉課のMSWや相談員、居宅のケアマネージャーなどが対応させていただきます。

- * 医療費が心配で病院にかかれない
- * 認知症について相談したい
- * 介護保険について知りたい
- * デイケアに行きたい などなど…

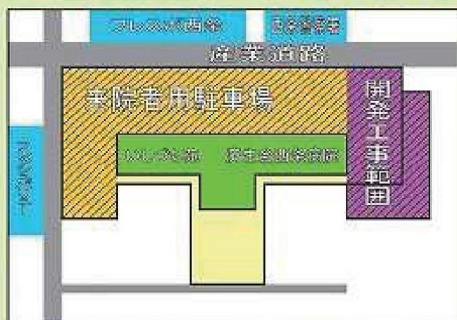


当日お気軽にお越しください。
職員一同ご相談をお待ちしております。

病院駐車場利用についてのお知らせ

特別養護老人ホーム建設に伴う開発工事のため、平成25年12月から病院東駐車場の台数が大幅に削減されております。安全確保のため、来院される方は正面駐車場および西駐車場をご利用いただくようお願いいたします。

大変ご迷惑をお掛けいたしますが、なにとぞ皆様のご理解・ご協力の程お願い申し上げます。



開発工事の様子



完成予想図